

## 「平成30年中の交通事故死者数について」

○ 平成30年中の交通事故死者数（24時間以内）

3, 532人（前年比-162人、-4.4%）

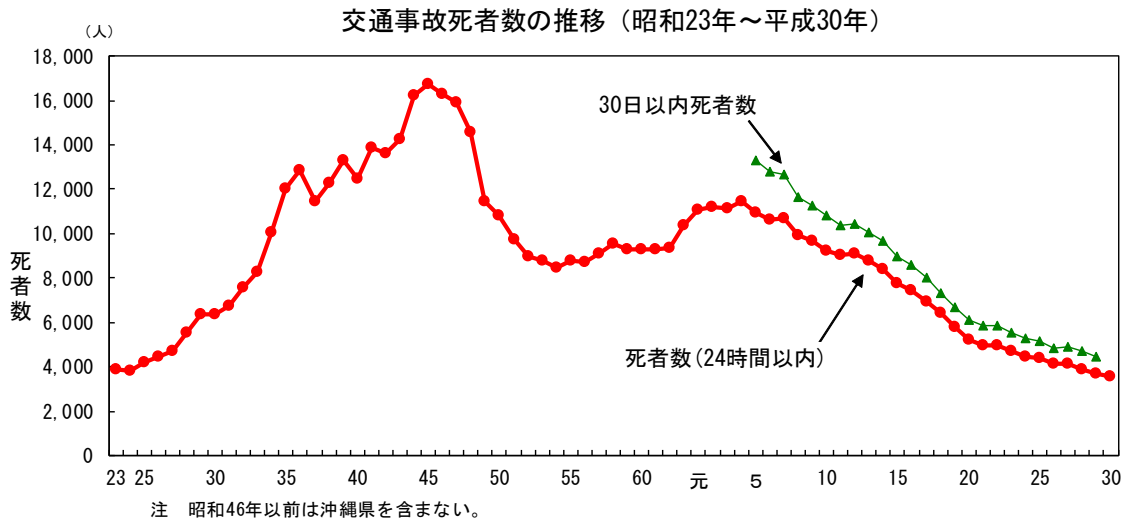
### 【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	高齢者（65歳以上）死者数の推移	4
5	死者3人以上の交通事故の発生状況	5
6	国家公安委員会委員長のコメント	6

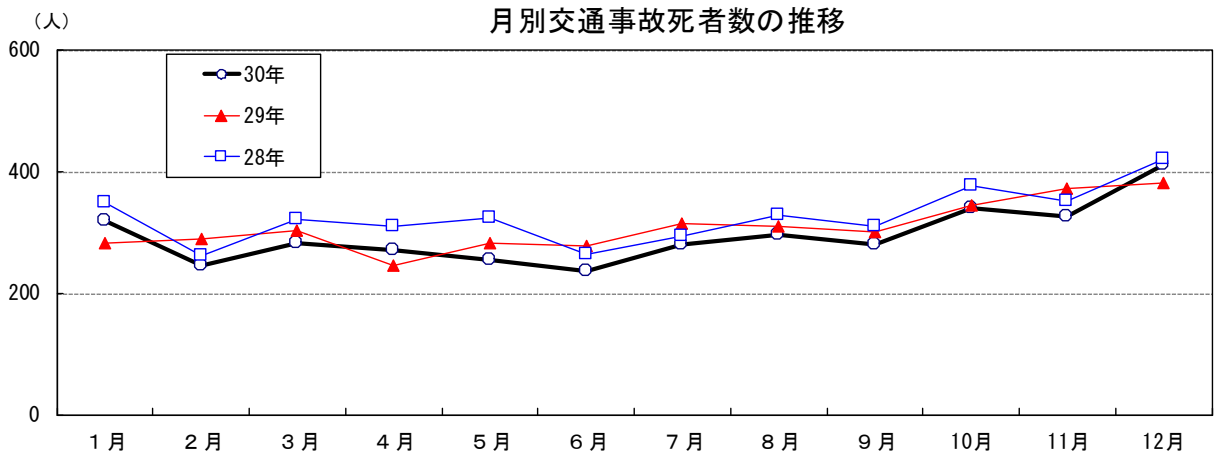
# 1 交通事故発生状況の推移

年	交通事故件数		負傷者数		死者数		人口10万人当たり	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	死者数(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23	4.93	30
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23	4.74	29
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25	5.14	31
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26	5.32	33
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28	5.55	34
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33	6.46	40
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38	7.32	45
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38	7.22	44
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40	7.56	46
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45	8.39	51
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49	9.05	55
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60	10.95	67
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72	12.97	79
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77	13.77	84
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68	12.14	74
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73	12.92	79
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79	13.85	85
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74	12.85	79
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83	14.15	87
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81	13.75	84
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85	14.22	87
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97	16.03	98
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.33	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97	15.69	96
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95	15.16	93
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87	13.58	83
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68	10.52	64
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.81	60
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58	8.70	53
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53	7.91	48
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52	7.69	47
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50	7.35	45
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52	7.45	46
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54	7.70	47
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57	8.02	49
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55	7.75	47
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56	7.70	47
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56	7.68	47
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62	8.46	52
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67	9.11	56
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66	8.99	55
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68	9.23	57
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64	8.54	52
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64	8.54	52
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59	7.92	48
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58	7.66	47
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54	7.12	44
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54	7.16	44
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52	6.90	42
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50	6.60	40
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
16	952,720	133	1,183,617	121	7,436	44	5.83	36
17	934,346	130	1,157,113	118	6,937	41	5.43	33
18	887,267	124	1,098,564	112	6,415	38	5.02	31
19	832,704	116	1,034,652	105	5,796	35	4.54	28
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
21	737,637	103	911,215	93	4,979	30	3.90	24
22	725,924	101	896,297	91	4,948	30	3.88	24
23	692,084	96	854,613	87	4,691	28	3.66	22
24	665,157	93	825,392	84	4,438	26	3.47	21
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
26	573,842	80	711,374	73	4,113	25	3.23	20
27	536,899	75	666,023	68	4,117	25	3.24	20
28	499,201	70	618,853	63	3,904	23	3.07	19
29	472,165	66	580,850	59	3,694	22	2.91	18
30	430,345	60	524,695	53	3,532	21	2.79	17

- 注1 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの。ただし、昭和23年及び24年は補間補正人口）又は「国勢調査」による）
- 2 交通事故件数及び負傷者数は、昭和34年以前は軽微な被害（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）事故を含まない。
- 3 交通事故件数は、昭和41年以降は物損事故を含まない。
- 4 交通事故件数、負傷者数、死者数及び人口は、昭和46年以前は沖縄県を含まない。
- 5 指数は、昭和45年を100とした値である。
- 6 平成30年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



## 2 月別交通事故死者数の推移



○ 月別交通事故死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成	20年	403	362	391	404	387	372	2,319	449	477	398	504	491	571	2,890	5,209
	21	384	364	387	357	406	354	2,252	381	440	407	468	489	542	2,727	4,979
	22	393	354	368	356	380	357	2,208	410	437	415	469	426	583	2,740	4,948
	23	333	363	383	378	346	347	2,150	365	410	378	472	431	485	2,541	4,691
	24	326	325	342	341	310	302	1,946	347	392	373	440	435	505	2,492	4,438
	25	347	339	334	345	332	314	2,011	332	374	366	381	432	492	2,377	4,388
	26	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
	27	346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
	28	349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904
	29	282	288	303	244	282	276	1,675	314	310	299	343	372	381	2,019	3,694
	30	318	245	282	270	253	235	1,603	280	296	279	338	326	410	1,929	3,532
	増減数	36	-43	-21	26	-29	-41	-72	-34	-14	-20	-5	-46	29	-90	-162
	増減率	12.8	-14.9	-6.9	10.7	-10.3	-14.9	-4.3	-10.8	-4.5	-6.7	-1.5	-12.4	7.6	-4.5	-4.4
	1日当たり死者数	10.3	8.8	9.1	9.0	8.2	7.8	8.9	9.0	9.5	9.3	10.9	10.9	13.2	10.5	9.7

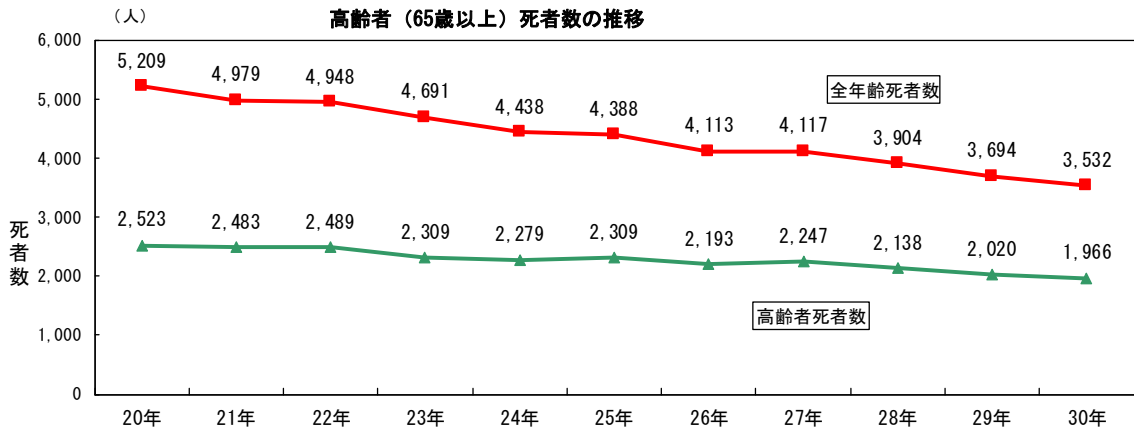
注 増減数（率）は、前年と比較した値である。

### 3 都道府県別交通事故死者数

都道府県名		死者数			人口10万人当たり死者数		
		28年	29年	30年	28年	29年	30年
北海道		158	148	141	2.94	2.77	2.65
東	青森	53	42	45	4.05	3.25	3.52
	岩手	73	61	59	5.70	4.81	4.70
	宮城	71	51	56	3.04	2.19	2.41
北	秋田	54	30	42	5.28	2.97	4.22
	山形	28	38	51	2.49	3.41	4.63
	福島	90	68	75	4.70	3.58	3.99
東京		159	164	143	1.18	1.20	1.04
東	茨城	150	143	122	5.14	4.92	4.22
	栃木	76	95	89	3.85	4.83	4.55
	群馬	62	67	64	3.14	3.41	3.27
	埼玉	151	177	175	2.08	2.43	2.39
	千葉	185	154	186	2.97	2.47	2.98
	神奈川	140	149	162	1.53	1.63	1.77
	新潟	107	85	102	4.64	3.72	4.50
	山梨	35	37	37	4.19	4.46	4.50
	長野	121	79	66	5.76	3.78	3.18
	静岡	137	128	104	3.70	3.47	2.83
中	富山	60	37	54	5.63	3.49	5.11
	石川	48	34	28	4.16	2.95	2.44
	福井	51	46	41	6.48	5.88	5.26
	岐阜	90	75	91	4.43	3.71	4.53
	愛知	212	200	189	2.83	2.66	2.51
畿	三重	100	86	87	5.51	4.76	4.83
	滋賀	53	55	39	3.75	3.89	2.76
	京都	60	66	52	2.30	2.53	2.00
	大阪	161	150	147	1.82	1.70	1.67
	兵庫	152	161	152	2.75	2.92	2.76
	奈良	47	40	45	3.45	2.95	3.34
中	和歌山	40	38	36	4.15	3.98	3.81
	鳥取	17	26	20	2.97	4.56	3.54
	島根	28	17	20	4.03	2.46	2.92
	岡山	79	97	68	4.11	5.07	3.57
	広島	86	91	92	3.02	3.21	3.25
四	山口	64	79	52	4.56	5.67	3.76
	徳島	49	34	31	6.48	4.53	4.17
	香川	61	48	44	6.25	4.94	4.55
	愛媛	77	78	59	5.56	5.67	4.33
九	高知	42	29	29	5.77	4.02	4.06
	福岡	143	139	136	2.80	2.72	2.66
	佐賀	35	36	30	4.20	4.35	3.64
	長崎	41	47	36	2.98	3.44	2.66
	熊本	67	73	60	3.75	4.11	3.40
	大分	42	44	39	3.60	3.79	3.39
	宮崎	45	42	34	4.08	3.83	3.12
	鹿児島	65	66	64	3.94	4.03	3.94
沖縄	39	44	38	2.72	3.06	2.63	
全国		3,904	3,694	3,532	3.07	2.91	2.79

注 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」  
 (各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの))又は「国勢調査」による。

## 4 高齢者（65歳以上）死者数の推移



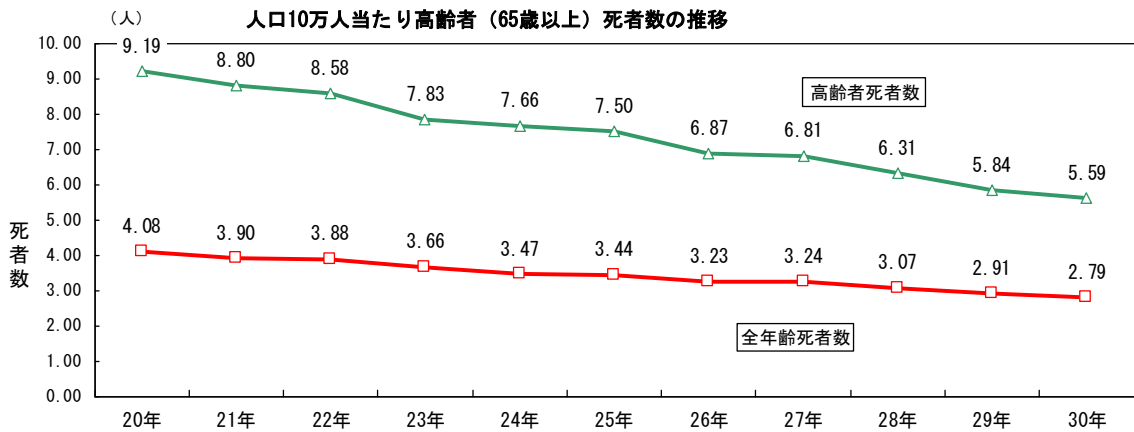
○ 高齢者（65歳以上）死者数の推移

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	増減数	増減率	指数
高齢者	2,523	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247	2,138	2,020	1,966	-54	-2.7	78
全年齢	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	-162	-4.4	68
高齢者構成率	48.4	49.9	50.3	49.2	51.4	52.6	53.3	54.6	54.8	54.7	55.7	-	-	-

注1 増減数（率）は、前年と比較した値である。

2 指数は、平成20年を100としたものである。

3 平成30年の高齢者死者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



○ 人口10万人当たり高齢者（65歳以上）死者数の推移

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	増減数	増減率	指数
高齢者	9.19	8.80	8.58	7.83	7.66	7.50	6.87	6.81	6.31	5.84	5.59	-0.25	-4.2	61
全年齢	4.08	3.90	3.88	3.66	3.47	3.44	3.23	3.24	3.07	2.91	2.79	-0.12	-4.2	68

注1 増減数（率）は、前年と比較した値である。

2 指数は、平成20年を100としたものである。

3 算出に用いた平成30年の高齢者死者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。

4 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの））又は「国勢調査」による。

## 5 死者3人以上の交通事故の発生状況（平成30年12月28日現在）

No.	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月5日 午後6時53分頃	高速 (北海道)	死亡3 軽傷1	普通乗用1 軽四乗用1	勇払郡占冠村内の高速道路において、軽四乗用車が対向車線に進出し普通乗用車に衝突。軽四乗用車の運転者及び同乗者2名が死亡したものの。
2	3月3日 午前0時13分頃	国道 (青森)	死亡3 重傷2 軽傷1	普通乗用1 中型貨物1	上北郡おいらせ町内の国道において、普通乗用車が対向車線にはみ出して中型貨物車と正面衝突、普通乗用車の乗員5名が車外に放出され3名が死亡、2名が重傷、中型貨物車の運転者が軽傷を負ったものの。
3	4月4日 午前4時3分頃	高速 (秋田)	死亡3	普通乗用1	由利本荘市内の高速道路において、普通乗用車が路外逸脱し、運転者及び同乗者2名が死亡したものの。
4	8月31日 午前2時22分頃	国道 (奈良)	死亡6 重傷2	大型二輪1 原動機付自転車2	奈良市内の国道において、2人乗りの大型二輪車が、3人乗りの原動機付自転車①に追突、追突された原動機付自転車①が、前方の3人乗りの原動機付自転車②に玉突き追突し、大型二輪車の2名と原動機付自転車①の3名、原動機付自転車②の運転者1名が死亡、原動機付自転車②の同乗者2名が重傷を負ったものの。
5	9月10日 午前8時46分頃	県道 (千葉)	死亡3	大型貨物1 軽四乗用1	千葉市内の県道において、過積載の大型貨物車が丁字路交差点を左折する際、横転して信号待ち停止中の軽四乗用車を押し潰し、軽四乗用車の3名が死亡したものの。
6	9月15日 午前4時35分頃	国道 (北海道)	死亡3 重傷1 軽傷2	普通乗用1 大型貨物1	茅渚郡森町内の国道において、普通乗用車が対向車線にはみ出し大型貨物車と正面衝突、普通乗用車の3名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷、大型貨物車の運転者が軽傷を負ったものの。
7	9月22日 午前1時05分頃	国道 (青森)	死亡4 重傷4	普通乗用1 軽四乗用3	つがる市内の国道において、普通乗用車が軽四乗用車①に追突、普通乗用車が対向車線に飛び出し対向直進してきた軽四乗用車②に衝突、軽四乗用車①が追突された衝撃で進路左側の防雪柵に衝突後、対向車線に飛び出し軽四乗用車③に衝突、軽四乗用車①の2名、軽四乗用車②の2名が死亡、普通乗用車の3名が重傷、軽四乗用車③の1名が重傷を負ったものの。
8	10月25日 午前10時30分頃	高速 (兵庫)	死亡3 重傷1 軽傷1	大型貨物2 中型貨物1 軽四乗用1	加古川市内の自動車専用道路上において、大型貨物車2台、中型貨物車、軽四乗用車の計4台が関係する多重衝突事故が発生し、軽四乗用車の運転者及び同乗者2名が死亡したものの。
9	11月28日 午後5時52分頃	県道 (徳島)	死亡3	軽四乗用2	阿波市内の県道において、路外施設駐車場から左折した軽四乗用車①を避けようとした軽四乗用車②が進路左前方の電柱に衝突後炎上し、軽四乗用車②の3名が死亡したものの。

## 6 国家公安委員会委員長のコメント

昨年の交通事故による死者数は、3,532人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となった前年を更に下回りました。

これは、政府をはじめ、関係機関・団体や国民一人一人が交通事故の防止に向け、積極的に取り組んできた結果だと考えております。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、飲酒運転等の悪質・危険な運転による重大な交通事故も依然として後を絶ちません。

国家公安委員会としては、子供と高齢者の安全確保や高齢運転者の交通事故防止等を重点として、各界各層と連携しながら、交通安全教育、交通指導取締り、交通安全施設等の整備、先端技術の普及活用等の諸対策を着実に推進するよう、警察を指導してまいりたいと考えております。

国民の皆様には、より一層の交通安全の取組や、安全な交通行動の実践をお願いします。